



健康経営の推進支援

健康経営アプリケーション「WellMe™」と実行支援サービスのご紹介

デロイト トーマツ コンサルティング (DTC) は、生産性とエンployee・エクスペリエンスの両方を高めることが「働き方改革」だと考えます。

エンployee・エクスペリエンスの高い働き方の根底にある、Well-being^{*1}が満たされた状態で働き続けられる組織づくりを、健康経営の構想策定・アプリケーション提供・実行支援の各局面でご支援します。

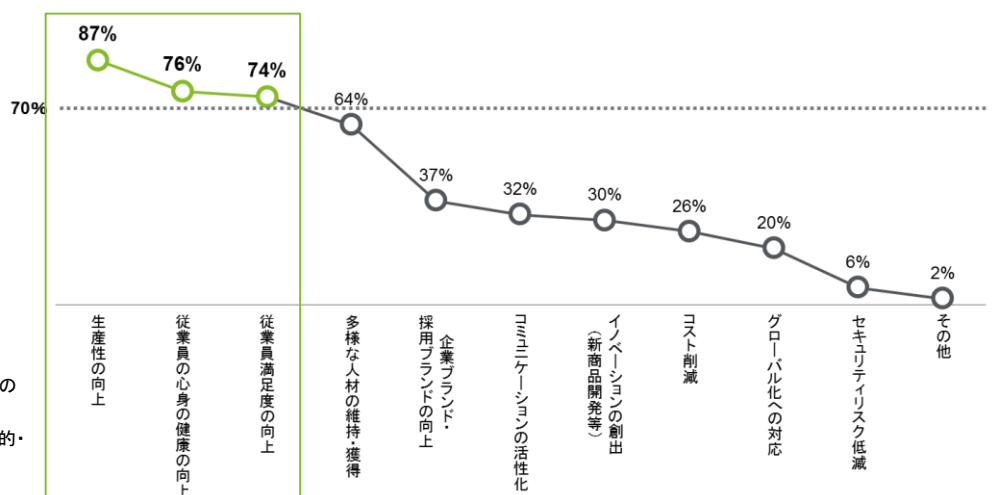
健康経営が求められる背景

労働人口の減少・人材獲得競争の激化やワークライフバランス志向の高まりを背景に、従業員の属性や価値観は多様化しています。健全で自らに合った働き方ができるかどうか、従業員が企業を選ぶ際の重要な判断基準になっています。企業は、従業員が継続的に、かつ企業で働くことを通じてやりがいや成長を得られる、つまりエンployee・エクスペリエンスを高めることが求められているのです。

デロイトは、エンployee・エクスペリエンスの高い働き方の根底には「健康」があると考えます。身体・精神の健康を維持・向上しながら持続的に働くだけでなく、自らの成長実感・貢献実感を持ちながら、いきいきと働くこと。この3点が揃った状態、つまりWell-beingの向上により、組織に高い生産性や創造性を生み出すことができるでしょう。

エンployee・エクスペリエンスの向上が、働き方改革においても重視されている

DTCの調査によると、働き方改革の目的として、生産性の向上だけでなく、従業員にとっての価値向上を挙げている企業が多数見受けられます。



出所: デロイト トーマツ コンサルティング「働き方改革の実態調査2017~Future of Workを見据えて」

*1: WHOが提唱している健康の定義であり、「身体的・精神的・社会的に良好な状態であること」を指す

健康経営実践のポイント

仕事と健康をトレードオフにするのではなく両立させることが、Well-being向上という観点で健康経営を推進する上での基本思想です。仕事も健康も両立させるためには、心身の健康維持・増進をつかさどる保険事業者や人事部門だけでなく、仕事の量・質・成果を方向づける経営者や管理職も主体的に取り組んでいく必要があります。

経営課題として継続的に健康経営に取り組み、成果を出す上で、いくつかポイントがあります。

動きがい・充実感も含めて健康経営の課題と捉え、施策を実施

まず、健診データやストレスチェックといった、心身の健康に関わるデータに加え、従業員の組織に対する感じ方(エンゲージメント)や労働時間・職場コミュニケーション等に関する情報も収集することが挙げられます。従業員満足度調査や労働時間といった、人事所管のデータも活用して、心身の健康にも作用する、組織の中での貢献実感や働き方の状況を捉えることで、多面的な健康経営課題を見出すことが可能になります。

仕事と健康の両立度合いをKPIで可視化

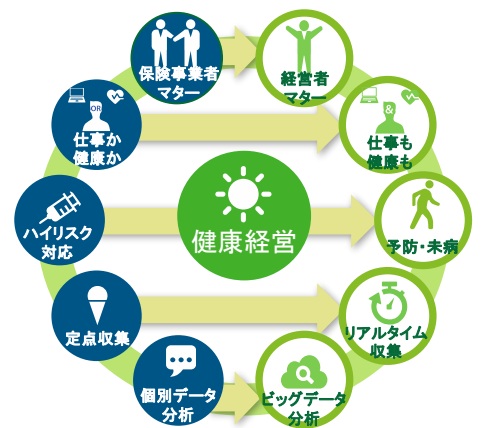
健康経営課題をタイムリーに把握し解決策を講じるためには、適切なKPIの設定・可視化によるPDCAの実装が肝要です。デロイトが有するKBSC®¹・²を活用することで、高頻度なPDCAの実践と、一過性の運動に留まらない、真の健康経営を推進を支援します。

KBSC®は、バランス・スコアカードの手法を基に、DTCが健康経営を推進するために独自に定義したものです。Well-being向上の観点から健康KPI(Key Performance Indicator; 重要業績評価指標)を新たに設定し、体系化しました。

最も主要な健康KPIは、アブゼンティズム³とプレゼンティズム⁴の改善です。社員のWell-being状況がもたらす結果として、この2つのKPIを設定しています。加えて、アブゼンティズム・プレゼンティズムに影響を与える先行指標も健康KPIとして整備し、健康経営上の課題やその原因を見出しやすくしています。また、エンゲージメントや労働時間、マネジメントのあり方等の要素も盛り込むことで、働き方をも踏まえた健康経営を推進します。

リアルタイムなデータ収集で、健康低下の予防にフォーカスしやすく

SMAC技術⁵を活用して、データ収集・分析をリアルタイムに行うことで、従業員の状況に応じた施策の企画・実行を促し、Well-beingの向上を実現することが可能になります。



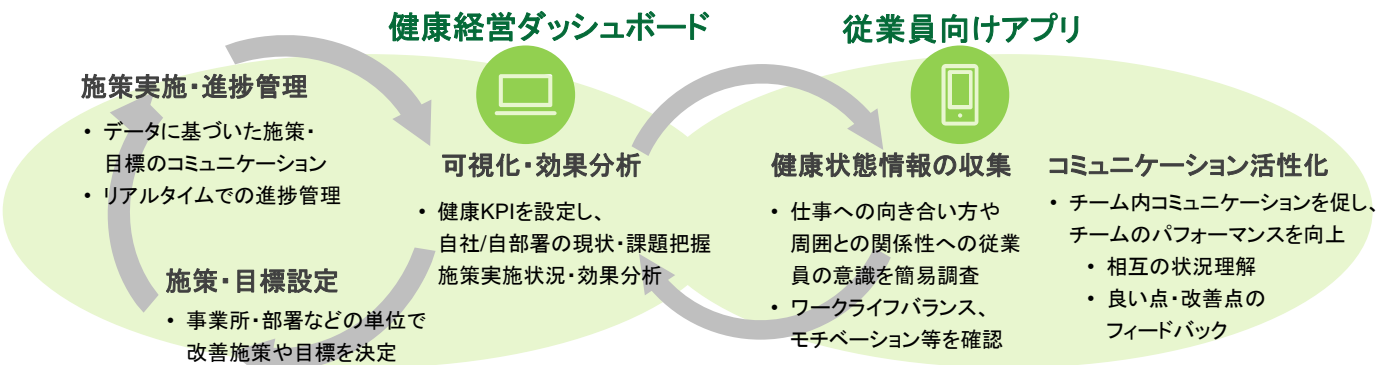
健康経営アプリケーション「WellMe™」

健康KPIによる健康経営のマネジメントツールとして、DTCは健康経営アプリケーション「WellMe™」を開発しました。

WellMe™は、経営者や管理者向けのダッシュボードと従業員向けアプリで構成されています。

ダッシュボードでは、各種データソースから健康データ・人事データ等を集約し、自社の健康経営課題に応じたKPIを可視化、経営者や人事による現状把握や健康経営上の課題特定・施策立案につなげます。

また従業員向けアプリでは、自身のモチベーション状況やキャリアや仕事上の目標、上司との面談結果を入力し、個人ダッシュボードで自らのWell-beingを客観視することができます。



¹ : Kenko Balanced Score Cardの略
² : KBSC及びKenko Balance Score Cardはデロイト トーマツ コンサルティング合同会社の登録商標です。
³ : 常用的な欠勤や無断欠勤
⁴ : 身体的・心理的な問題による生産性の低下
⁵ : ソーシャル(S)、モバイル(M)、アナリティクス(A)、クラウド(C)の頭文字

WellMe™

健康経営ダッシュボードを活用した健康経営PDCA

WellMe™は、ダッシュボードのユーザーである経営者や人事部門、マネジャー等の関心に応じた、健康KPIの可視化と深掘りが可能です。例えば経営者は全社のアブセンティズム・プレゼンティズムの推移を把握し、人事やマネジャーに働き方や健康管理の改善を促します。人事は、サブダッシュボードでアブセンティズム・プレゼンティズムの状況とその要因を深掘りし、的を射た施策の企画・実行を行います。マネジャーは自組織での労働時間推移やモチベーション状況を把握し、日々のフィードバック内容や業務・労務管理に反映します。

①健康KPIの推移把握

メインダッシュボードで現状と推移を把握

- 全ての健康KPIが一覧化されたメインダッシュボードで、現状を把握
- 前回測定時からの推移も合わせて把握
- より深掘りして状況把握すべき健康KPIを特定



②深掘り把握・問題抽出

サブダッシュボードで現状を深掘り

- 深掘り対象である健康KPIの詳細を、サブダッシュボード画面で確認
- 部署・年齢等といった属性別の現状を可視化したり、健康KPIの先行指標の状況について確認して、テコ入れの必要箇所を特定



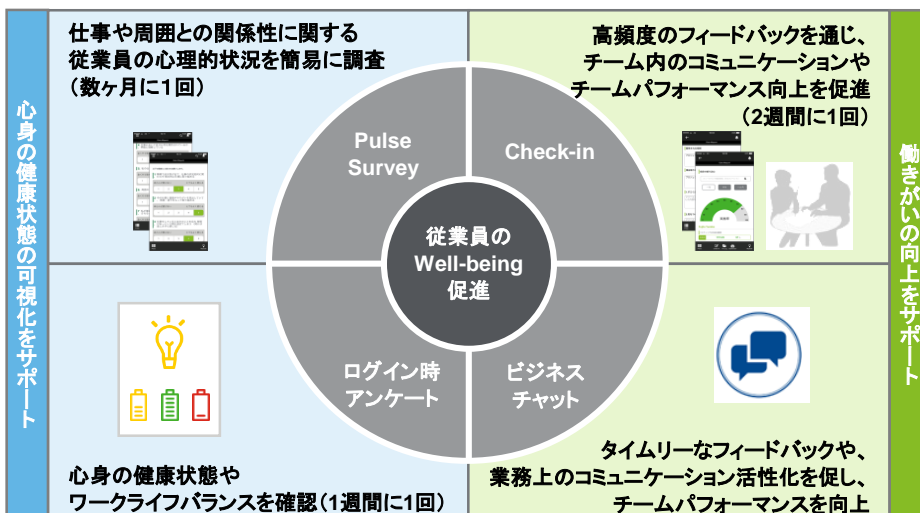
③施策検討・実行

問題に即した施策検討・実行

- テコ入れが必要な属性や事象に対して、健康増進施策はもちろん、働き方・業務・制度・環境等あらゆる観点から施策を検討・実行

| | |
|------|---|
| 健康 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 保険者等も巻き込んだ体制構築 ・ 運動促進プログラムの導入等 |
| 働き方 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 労働時間の最適化 ・ 働く場所・時間の選択肢の拡大等 |
| 業務改善 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務プロセスの改善 ・ 代替労働力の投入 (RPA, AI) 等 |
| 制度 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標設定・フィードバックの見直し ・ 評価基準・方法の見直し等 |
| 環境 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 執務スペースの見直し ・ ITインフラ・ツールの活用等 |

従業員向けアプリの機能概要



心身の健康状態を可視化

アプリには簡易なアンケート機能が搭載されています。従業員の組織や仕事に対する感じ方を測ったり (Pulse Survey)、自身のコンディション (健康状態・ワークライフバランス) を確認します (ログイン時アンケート)。

働きがいの向上をサポート

高頻度フィードバックによるコミュニケーション活性化・パフォーマンス向上 (Check-in) をアプリケーション上で実施します。個々人に寄り添ったフィードバックを通じたパフォーマンスマネジメントにより、従業員の働きがいや充実感を高めます。ビジネスチャットツールで、その場その場でのフィードバック提供も可能です。

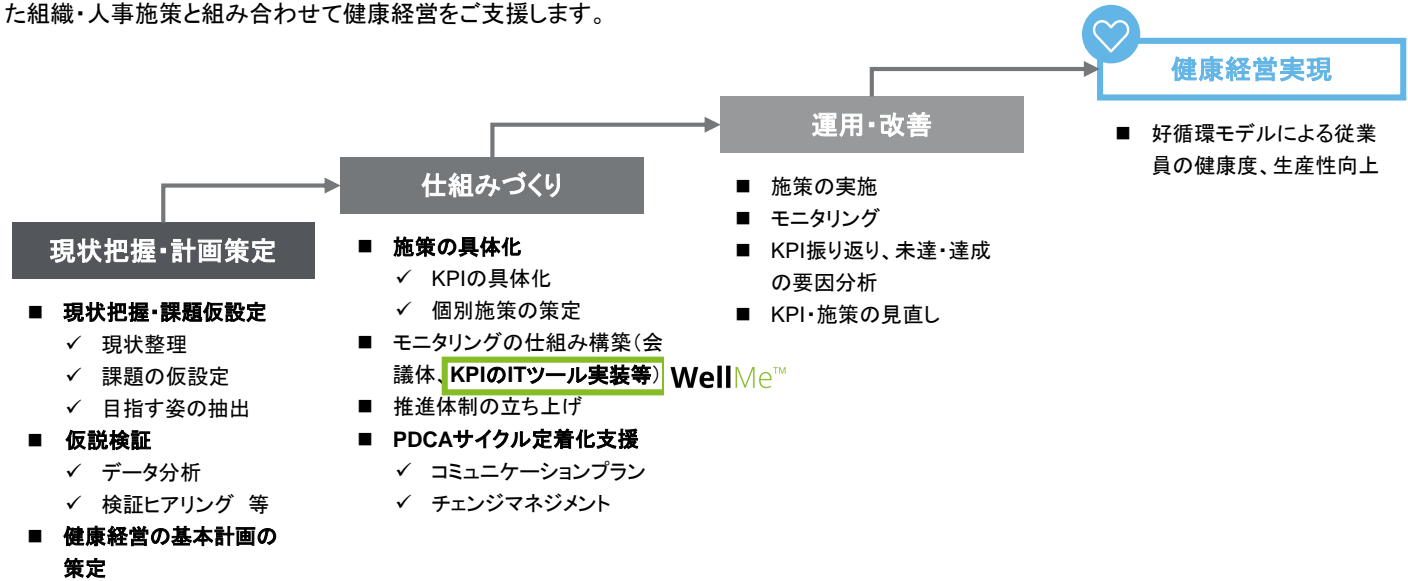
ダッシュボードとの連携

アプリで収集したアンケート結果を健康経営ダッシュボードに集約し、健康経営PDCAに活用します。

デロイトの健康経営ご支援

デロイトは、健康経営アプリケーションの提供のみならず、現状/課題把握・健康KPI設定・施策実施・定着化支援・モニタリング・改善までを包括的にご支援します。

計画倒れ・打ち上げ花火に終わらせず、組織マネジメントの一要素として定着させるために、組織風土改革・業務改革・人事制度改革といった組織・人事施策と組み合わせる健康経営をご支援します。



デロイトのバリュー

1 デロイトトーマツグループ全体で健康経営を支援

業界別・機能別組織との連携や洗練された方法論により、健康経営の推進を支援します。また、有限責任監査法人トーマツパブリックセクターヘルスポリシー&ストラテジー¹⁾とも連携します。

2 「HRテクノロジー大賞」優秀賞受賞

日本のHRテクノロジー、人事ビッグデータ(アナリティクス)の優れた取り組みを表彰する「HRテクノロジー大賞」にて、ヒューマンキャピタルディビジョンは、労務・福利厚生部門にて優秀賞を受賞しました。

3 働き方改革における知見・実績

生産性とエンployee・エクスペリエンスを高める、働き方改革の方法論を7つの領域にわたり解説した書籍や、当社Webサイト内の働き方改革特集ページにて、最新のトレンドやプロジェクト経験に基づく知見・サービス等を紹介しています。

¹⁾ :健康施策・保険者事業・保健指導業務等への深い知見、官公庁・アカデミア等との幅広いネットワークを有する専門集団

デロイトトーマツコンサルティング合同会社

ヒューマンキャピタルディビジョン (Human Capital)
 〒100-6390 東京都千代田区丸の内2-4-1 丸の内ビルディング
 Tel 03-5220-8600 Fax 03-5220-8601
www.deloitte.com/jp/dtc

デロイトトーマツグループは日本におけるデロイトトウシュトーマツリミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)のメンバーファームであるデロイトトーマツ合同会社およびそのグループ法人(有限責任監査法人トーマツ、デロイトトーマツコンサルティング合同会社、デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社、デロイトトーマツ税理士法人、DT弁護士法人およびデロイトトーマツコーポレートソリューション合同会社を含む)の総称です。デロイトトーマツグループは日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査・保証業務、リスクアドバイザー、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー、税務、法務等を提供しています。また、国内約40都市に約11,000名の専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイトトーマツグループWebサイト(www.deloitte.com/jp)をご覧ください。

Deloitte(デロイト)は、監査・保証業務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザーサービス、リスクアドバイザー、税務およびこれらに関連するサービスを、さまざまな業種にわたる上場・非上場のクライアントに提供しています。全世界150を超える国・地域のメンバーファームのネットワークを通じ、デロイトは、高度に複合化されたビジネスに取り組むクライアントに向けて、深い洞察に基づき、世界最高水準の陣容をもって高品質なサービスをFortune Global 500® の8割の企業に提供しています。“Making an impact that matters”を自らの使命とするデロイトの約245,000名の専門家については、[Facebook](#)、[LinkedIn](#)、[Twitter](#)もご覧ください。

Deloitte(デロイト)とは、英国の法令に基づく保証有限責任会社であるデロイトトウシュトーマツリミテッド(“DTTL”)ならびにそのネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびその関係会社のひとつまたは複数を含みます。DTTLおよび各メンバーファームはそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。DTTL(または“Deloitte Global”)はクライアントへのサービス提供を行いません。Deloitteのメンバーファームによるグローバルネットワークの詳細はwww.deloitte.com/jp/aboutをご覧ください。

本資料は皆様への情報提供として一般的な情報を掲載するのみであり、その性質上、特定の個人や事業体に具体的に適用される個別の事情に対応するものではありません。また、本資料の作成または発行後に、関連する制度その他の適用の前提となる状況について、変動を生じる可能性もあります。個別の事案に適用するためには、当該時点で有効とされる内容により結論等を異にする可能性があることをご留意いただき、本資料の記載のみに依拠して意思決定・行動をされることなく、適用に関する具体的事案をもとに適切な専門家にご相談ください。

Member of
Deloitte Touche Tohmatsu Limited

